

○「プラン作成へ各課題を協議」

(京都府宮津市 金山地域活動 第3回目)(上宮津地区連絡会議活動)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

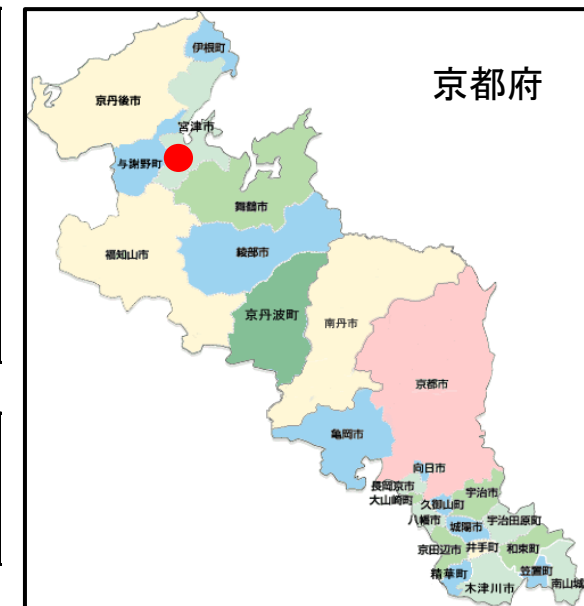
1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成31年1月24日(木) 14:00～17:00
- 場 所: 宮津市金山集会所
- 出席者: 細見推進委員、地元営農者9人、市2人、普及センター1人
※委員1人、委員以外12人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

写真・図面
(地区連の写真又は
必要に応じた活動の写真や図面)

2 地区の特徴、状況、課題

- 中山間・多面的事業を実施。農地は一定、集積されているが、高齢化で高い畦の草刈りが困難に
- 小作料が高い。地域における土地利用は、原則、皆で決めることになっているが、実態は相対で押しつけ
- 耕作者は今以上に耕作地を増やすことができない。不作付け地がでると保全管理せざるを得ない



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 京力農場プランの検討と農地中間管理事業制度説明
 - ・農地利用の効率化を図るため、地区をブロック化して担い手を検討してはどうか
 - ・農地だけではなく、空きハウスの調査を実施してはどうか
 - ・米の加工ができないか ・中山間地域事業の取り組み、2組織(5・6区、7区)
 - ・農地集積をした場合のルール作りが必要ではないか(草刈り、水路、農道維持管理、災害時等の負担)
 - ・地域説明会をいつ実施するか
- 次回検討事項(農地利用調整組織の検討、加工、新規就農・後継者、農地保全のルール)

4 活動結果

- | | | |
|-----------|---|----|
| ○ 情報・意見交換 | 3 | 時間 |
| ○ 担い手への集積 | a | 増加 |
| ○ 遊休農地面積 | a | 解消 |
| ○ 新規就農者 | 人 | 支援 |